

就農事例紹介シート

広島県立西条農業高等学校卒業 橋元 大樹さん

(農事組合法人 宮澤農産 小南牧場)



橋元 大樹さんの紹介

橋元大樹さんは、西条農業高等学校の畜産科に三年間在籍しました。畜産科では酪農部門を専攻し乳牛の管理実習やプロジェクト研究に取り組みました。また、部活動に励むため、高校在籍中の三年間、学校の寮に入り、寮長を務め、約100名の寮生をまとめる等、リーダーシップを発揮しました。

○橋元 大樹さんの就農までの道

農業高校
(西条農業高等学校)

繁殖技術研修生
(全国農業協同組合連合会)

就職就農
(宮澤農産小南牧場)

農業高校に入学しようと思ったキッカケは？

農業高校に入学しようと思ったきっかけは、小さい時から動物が好きで畜産業に興味があり、西条農業高等学校の畜産科に入学すれば、牛の基礎知識や専門的な知識を養い自分の力にすることができると思いました。また、同じ意識を持っている仲間を増やし、将来、意見交換しあえる交流の場を作るための環境やネットワークを作りたいと考えたためです。

高校や研修先で学んだことは？

高校では、自分に対する多くの要求を何とかやり抜くタフさと、厳しいルールを受け入れて自分なりに工夫して実行する実行力や自分の許容範囲を広げることなどを学びました。

全国農業協同組合連合会では、家畜人工授精師と家畜受精卵移植師の資格をとらせてもらい、研修後に即戦力になれるよう、繁殖についての専門知識と技術を学びました。

今の仕事の中でやりがいを感じることは？

早朝から夕方までの繁殖牛の管理は大変だが、ET (Embryo Transfer : 受精卵移植) を自分が行った牛が妊娠した時や、親牛に無事に事故なく分娩させることができた時は大変やりがいを感じます。



就農先の紹介

農事組合法人宮澤農産小南牧場は、牛の繁殖から肥育まで行う一貫牧場であり、受精卵移植の際に2卵移植を行うことによる双子生産に取り組むことで子牛生産の効率化を図っている。

本農場の牛は、枝肉の成績も良く、千葉県共励会で数々の賞を受賞している実績がある。